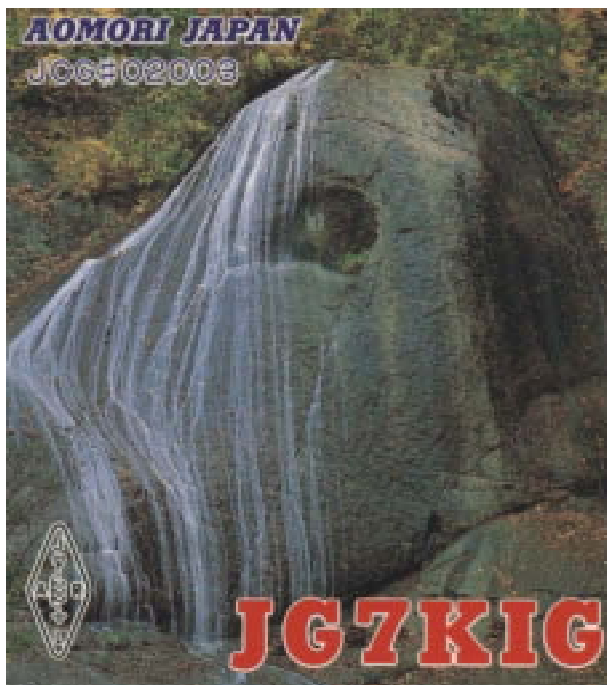


# じもろから

2004年06月号 (285号)



◆みろくの滝！室町時代初期のころ、キユウ直房と呼ばれるお坊さんがこの近くの村にたどりつきました。村人の一人が寂れに思い、このお坊さんに食べ物を差し出したところ、断食修行中ということでそれらを一切断わり続けたのです。何日かして、村人は鎮死してしまっているそのお坊さんを見つけたので、村人はとても悲しみました。そこで、このお坊さんの姿を弔おうということになり、中流に御霊碑を建てました。御霊碑を信仰していたこのお坊さんになみ、いつしかこの滝を「みろくの滝」と呼ぶようになったといわれています。別名「ゾーマンの滝」と呼ばれるように、岩肌を伝う滝の水は常にさらさらとゾーマンのごとく流れ、雨上がりの時はさらに水量が増して見ゆえ十分。うっそうと繁る緑の中、実知として偉大な姿を現わす、みろくの滝。思わず感嘆の声を上げてしまう人も少なくありません。心がすっきり洗われたような気分させられるこの「みろくの滝」は、田子へおいでの際は必見の名所です。

日本アマチュア無線連盟  
青森クラブ機関誌  
(02-1-4)

## アマチュア無線の運用の基本について

J A 7 P D

今回は、Q S Oの仕方について基本に戻って見たいと思います。  
青森クラブの皆さんもH F及びV & U帯にアクテブに活躍されていることと推察  
します。当局も暇に任せてワッチしています。

特に7 M H z帯ですが・・・H i

このバンドを聞いていると次のような交信内容が飛び込んできます。

相手局のコールサインを言わずに「  
」、サフィックスのみのコール。

「J A 7  
こちらのコールはJ A 7  
です」。

「J A 1  
こちらのコールはJ A 7  
、ピックアップ有難うございます」。

最初に「J A 7  
こちらのコールはJ A 7  
です。」について。

電波法無線局運用規則第14条第1項にはこうあります、「無線電話通信の業務用  
語には、別表第4号に定める略語を使用するものとする。」とあり、別表第4号には  
「各局、こちらは、どうぞ、了解またはO K、お待ちください、ただいま試験中、  
本日は晴天なり、さようなら、誰かこちらを呼びましたか、等」と書かれています。  
「こちらのコールは」という語辞を使うことは電波法違反になります。

なぜかと言うと無線局運用規則第14条第2項に、無線電話通信においては、前  
項(第14条第1項)略語と同意義の他の語辞を使用してはならないとあるからです。  
ただし別表第2号に定める略符号(「Q R T」<sub>Ⓜ</sub>、「Q U Z」<sub>Ⓜ</sub>、「D D D」<sub>Ⓜ</sub>、「S O S」<sub>Ⓜ</sub>、「T  
T T」<sub>Ⓜ</sub>、及び「X X X」<sub>Ⓜ</sub>、をのぞく。)の使用を妨げない。とあります。

別表第2号は、無線電信通信用略符号で皆さんがよく使っている「C Q」とか「Q  
R Z」等です。「Q R A」については、オペレーターの名前ではないのでくれぐれも  
名前を言うときは使わないでください。

次は、サフィックスのみのコールは如何なものか。

サフィックスのみでコールすることは相手を呼んでやっているのだ、と当局は感  
じてなりません。言い過ぎかもしれませんが・・・H i

省略については、呼出し又は応答の簡易化ということで、「無線局運用規則第12  
6条の2」(空中線電力50 W以下の無線設備を使用して呼出し又は応答を行う場  
合において、確実に連絡の設定ができると認められるときは、第20条第1項第2  
号及び第3号又は第23条第2項第1号に掲げる事項の送信を省略できる。)とあり  
ます。

ここで、第20条第1項第2号及び第3号とは、「第1号、相手局の呼出符号」  
「第2号、こちらは」 第3号、自局の呼出符号」のうちの「こちらは」と「自局  
の呼出符号」を省略、第23条第2項第1号は、「第1号、相手局の呼出符号」 「第  
2号、こちらは」 第3号、自局の呼出符号」のうちの「相手局の呼出符号」を省  
略できることになります。第126条の2第2項に「こちらは」と「自局の呼出符  
号」の事項の送信を省略した無線局は、その通信中少なくとも1回以上自局の呼出  
符号を送信しなければならないとありますので忘れずに。

相手局をコールする時はプリフィックスから、省略しないでコールしたいもので  
す。

3番目は、「ピックアップ」と言う言葉遣いです。

何時ごろからこのような言葉が使われるようになったのかは定かではありません  
が取り上げて貰ったと言う意味だと理解していますが、我々がハムを始めた当時は  
誰もこのような言葉を言ったことも無かったし、使ったこともありませんでした。

当局にはどんな意味で言っているのか解釈に苦労します。ここでは応答して貰っ

たのですから応答云々と言うべきで、敢えて横文字を使いたいのであれば「Thank you very much for coming back to my call」という語句からcoming backの部分を使う方が私は格好良いように思われますが皆さんはいかがですか。取りも直さず通信は短く端的に伝達するのが本来の姿です。通信の仕方はプロ、アマ関係なく電波法に従わなければなりませんし言葉の使い方も意味の通じるものでなければならぬと考えています。・・・Hi

4番目は、相手局のコールサインもわからずにコールする局です。

相手局のコールサインがわからない場合は呼出ししてはいけないはずですが、後で相手のコールサインを確認してQSOすることは相手に対して大変失礼だと思います。相手のコールサインが確認できて初めて呼び出さなければならないはずですが。

以上硬いことを述べてきましたが、今の講習会はオリエンテーションがありませんのでニューカマーの局長さんは皆さんのQSOを聞いてQSOしますので正しくQSOしたいです。・・・Hi

反復みたいになります。「相手局のコールサイン こちらは 自局のコールサイン」といきいたいものです。

アマチュア無線はプロと違って通信時間に制限がある訳でなし、趣味の世界ですからのんびりQSOすればよいと思っていますが。・・・Hi

また、QSO中つながりましたら云々とよく聞きますが、無線は線がないのでつながると言う言葉は不適切だと思います。ここでは次回のQSOとか、次回のコンタクトできましたらと言うべきですね。

ルールはルールですから当局も気をつけてハムライフを満喫したいと思っていますところ。・・・Hi

# 新製品情報



DXDNA

## FTDX9000

発売時期 未定  
販売価格 未定

### 第4級アマチュア無線技士講習会開講します

開講日平成16年7月18日(日)25日(日)の2日間で開講します。

### (株)電技パーツ

住所 青森市第二間屋町3-6-44  
電話 017(739)5656

e-mail [shop@dengiparts.co.jp](mailto:shop@dengiparts.co.jp) url <http://www.dengiparts.co.jp>

## おおさか・いけだ総会に参加して

JE7JGG 佐藤 眸

来年10年ぶりに7エリアで開催される、第47回JARL総会「せんだい・杜の都総会」のPRとお手伝いを山之内本部長から頼まれ、青森県支部から私と、JH7DXJ安齊さんが「おおさか・いけだ総会」に参加してきました。

安齊さんは、5月21日（金）宮城県支部の役員の方々と一緒に仙台からマイクロバスで、私は翌日に青森から空路、大阪に向かいました。私は比較的楽な旅行をさせて頂きましたが、安齊さんは仙台～大阪まで高速道路を乗り継いで、片道11時間位かけ車中泊2泊でしたので、大分お疲れになったのではと思います。大変ご苦労さまでした！

今回の「おおさか・いけだ総会」は、従来各県支部単位で実施していたJARL総会を、関西地方本部6府県すべてが協力して行うとのことでしたので、来年の「せんだい・杜の都総会」のお手本にするために、見学と勉強をしてきました。

来年は、実行委員長が山之内本部長ですので、東北6県の支部が協力する形で行われることとなります。青森県支部としても会員の皆さんの参加とお手伝いをお願いしたいと思っております。

「おおさか・いけだ総会」は今回、関西アマチュア無線フェスティバル（関ハム）と併設して開かれておりましたので、多勢の人で賑わい、ハムフェアに参加したことの無い私は、貴重な楽しい時間を過ごすことが出来ました。

前夜祭も前売り券200枚を完売し、当日券100枚以上が売れたとのこと、流石、大阪商人、2次会場も用意されておりました。いつもは食べ物がすぐ無くなり不満たらたりましたが、今回会場こそ質素であったものの、食べ物・飲み物が次々に追加され、参加された皆さんは満足されたようです。

青森県からは私と安齊さんのほかに、むつ市からいつものJI7DIR・JI7DIS八重樫ご夫妻が来ており、去年の「彩の國総会」では不満だらけでしたが、今回の前夜祭には大変満足され、7エリアからのみなさんとスナップ写真を撮ったりして楽しんで帰られたようです。

しかし、いつも前夜祭に参加され親しく声をかけていただき、JA3AA島OMが体調をくずされ、お顔が見えないのが残念でした。来年、仙台でお会い出来ますよう早い回復をお祈りしております！

楽しい前夜祭もおわり、8時30分頃、安齊さん、宮城県支部のメンバーとタクシーに分乗してホテルに帰りました。私は元気でしたが、マイクロバスの方々は2～3時間ほどしか眠れなかったみたいで、早々に就寝しました。

第46回JARL総会「おおさか・いけだ総会」については次号でお話したいと思えます。



J E 7 J G G (佐藤眸)さんを通して、J A 7 Q P G (阿部)さんから頂戴したものの抜粋です。

昭和46年9月23日電話級の免許を取り、開局したのは昭和49年12月頃だと思います。

開局まではクラブのコールサインを使い、使用者がもう一人いたので時間を打ち合わせ、交代で運用していました。

ある日、打ち合わせ時間通りに出ていたところ、相手が別な場所から運用してしまい「二カ所から同じコールサインで電波を出すことは・・・」と、お叱りを受けてやめたという思い出もあります。

当時の144MHz帯のアンテナは、いいと言われるマスプロの八エレメントアンテナでさえ、うまく飛んだとしても秋田辺りまででした。

その頃、秋田のABS放送がアワードを出していると聞いて、車に無線機を取り付け姉の住む秋田の湯沢へ出かけました。アワードの規則は秋田の市・郡と交信するというものです。湯沢では自作のアンテナを組み立て、どうにか交信も完了し、アワードを獲得することができました。

これが私にとってのアワードの始まりです。

その後、FT401Sを買い求めましたが、HF帯はなかなか聞き取りにくく苦労したものです。

「ワッチに始まりワッチに終わる」を信条に頑張ってきましたが、おかげで得たアワードは110枚にもなりました。そして、トロフィー18箇、楯16個、掛け時計を頂戴しています。また、コンテストにも力を注いでおり賞状40枚を得ています。



先日、JN7TIU（坂本）さんから、写真が届きました。これは、4月25日（日）坂本さん御夫妻が金木の芦野公園へお花見に行く途中、JR北常盤駅に併設された常盤村のコミュニティプラザ「ぽっぼら」に立ち寄った際に奥様が撮ってくれたものです。当日は「青森鉄道模型クラブ」が常盤村の観光協会の方から模型電車（H0ゲージやNゲージと呼ばれる模型でレールの幅はそれぞれ16.5mmと9mm）の運転会の依頼を受けて開催されました。24、25日の二日間にわたっての実施です。目の走る電車を食い入るように見詰める子供の目が印象的でした。



# 奇 跡 の 石

齊藤照子

毎日のように痛ましい事件、事故のニュースが飛び込んできます。

幸い、今のところはそんな大きなことに巻き込まれずにいますが、いつどうなることや誰にもわかりません。私はO型人間ですから「だから何処へも行かない何もしない」というわけではありませんし、大いに遊び、そして働いています。普通の生活をかなり楽しんでいるほうでしょう。それでも所謂ストレスというものはあるのです。年齢的にも健康とか、ダイエットという言葉に敏感になってきています。

ある日、黒い原石で『トルマリン』という石に出会いました

興味の始まりは『電気石』ということからです。地球上に、エネルギーを持つ石は三つ。ウラン鉱石・磁鉄鉱・そしてトルマリンだということです。ほんのちょっとですがアマチュア無線を通して、電気的なことに関わったような気になっているものだからね。学生時代の記憶も消えていますし、インターネットで調べてみました。

『宇宙からの素電子であるマイナス電子がトルマリンのプラス電極に引きつけられ、永久に静電気を出すという仕組み。1880年にキュリー兄弟によって証明されている。トルマリンは水分に触れると電気分解が始まり・・・結果、連続的にマイナスイオンが発生すると考えられている』そうです。

この原理を応用した物が様々あるようです。

私の注目は寝具。布団の繊維の中にトルマリンを織り込んでしまったとか。夜寝ている時汗をかきますよね。この汗がトルマリンの電気分解を促し、寝ているだけでマイナスイオンを吸収出来るのだそうです。なんてお手軽なのでしょう！ただ、お値段は少し重い！ 原石握り拳位の大きさに20万円程度。敷き布団に乗せて敷くようなもので同程度。また宝飾用でもあり、赤・黄・緑等々多彩な色があり、10月の誕生石ともなっています。

効用は『マイナスイオンと遠赤外線効果の相乗効果によって、毛細血管の拡張による体温の上昇や肌の活性化・新陳代謝の促進』と良いこと尽くめ。放っては置けません。そこで探しました。サンロードの中にある石屋さん。親指の爪位の大きさのトルマリン。500円です。穴をあけてもらえばネックレスのようにも出来ます。

『奇跡の石』トルマリン電気石で、体調の奇跡を実験してみませんか？

トルマリンは『癒しのミラクルパワー』とも言われているようです。

## 画像及び文字通信のための

### ノートパソコン用インターフェース製作についてその2

de JA7PD

「じょんがら」5月号に発表した回路図を見て、作ってみようかなと考えたクラブ員の方々に幾らかでもアドバイス出来ればと思い第2弾（次ページ以降）を工夫してみました。参考にしてください。

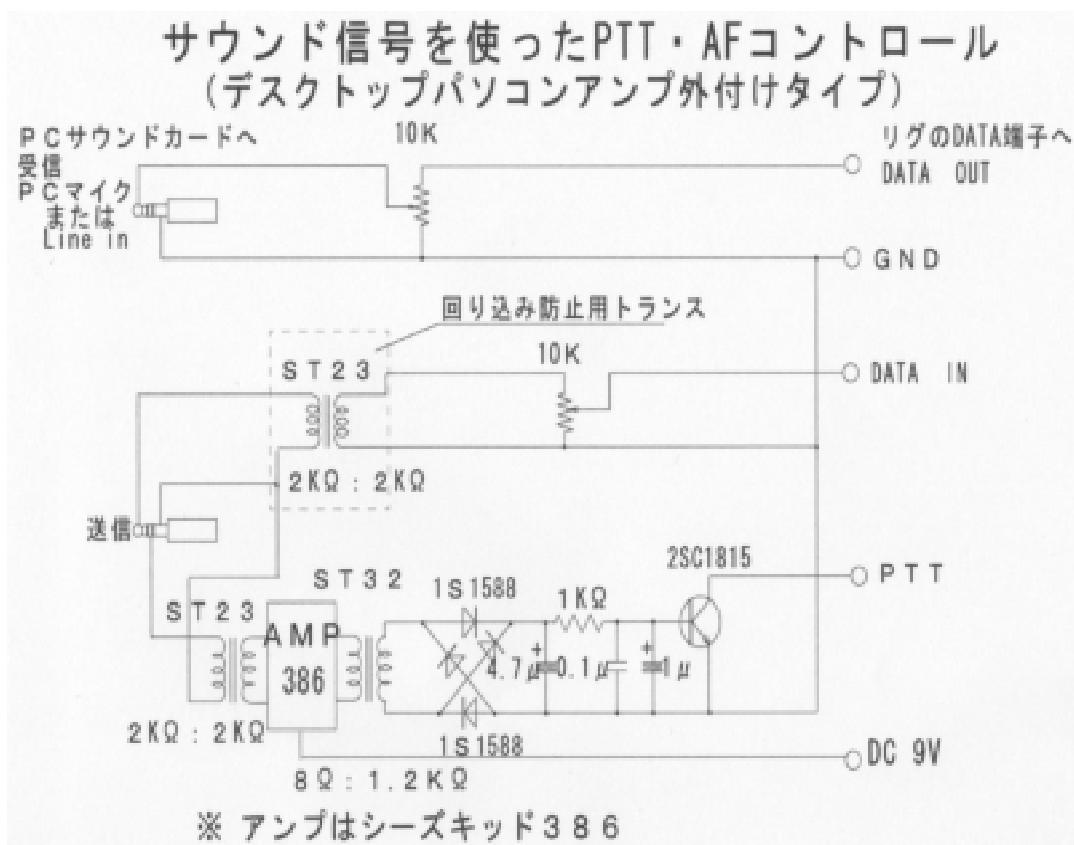
まずインターフェースを製作するに当たり、一番苦労するのは先回紹介したリグの送信・受信を制御する「音声コントロール部分」であろうと思われます。

いろんなものを作っている局は別ですが、この部分をどのようなパターンで作ったらいいか迷うところです。

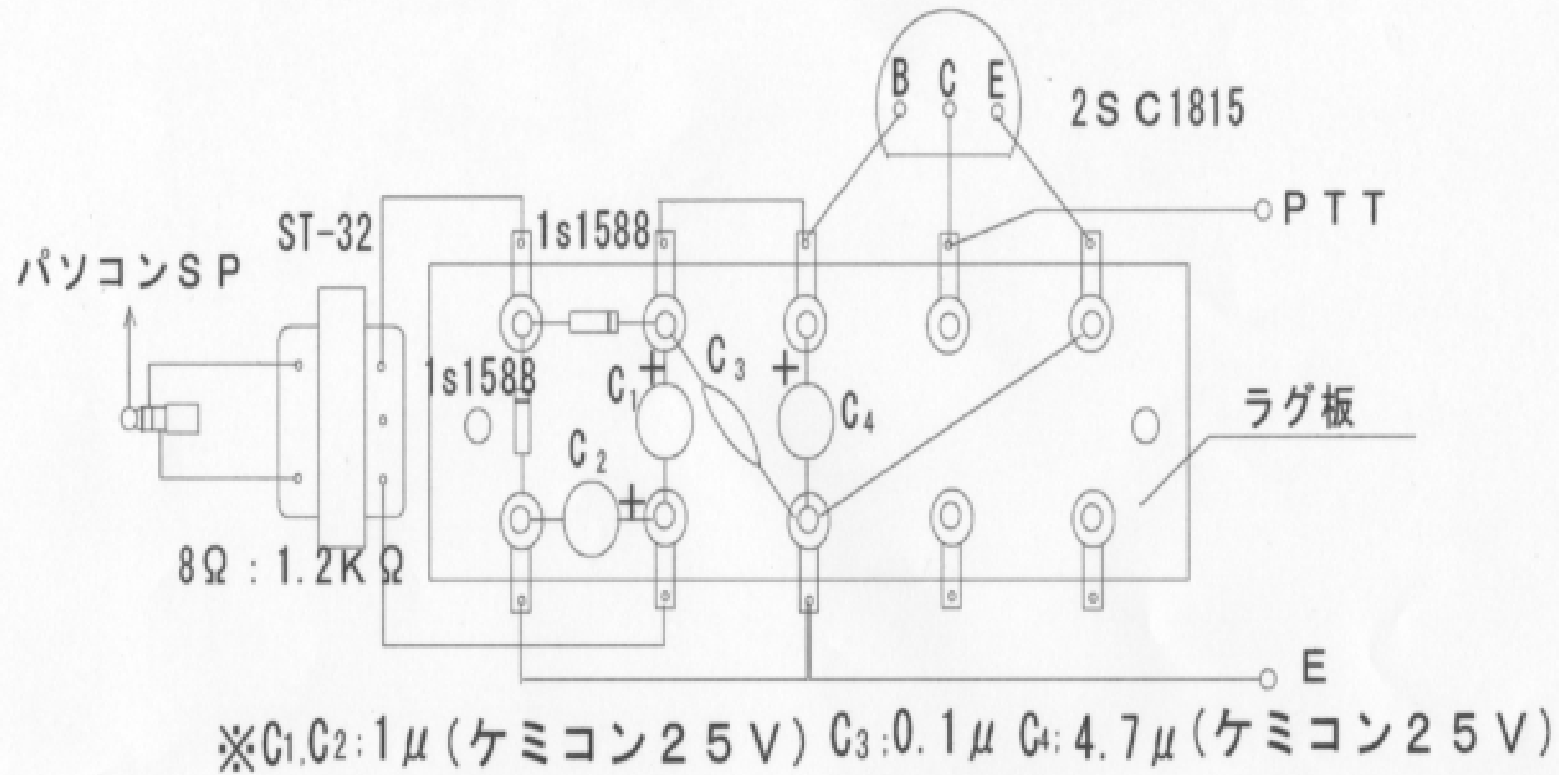
今回はこの部分だけをピックアップして10P平ラゲ板で作る実体配線図を紹介しておきます。

73

下の回路図は紙面の都合により、先月号で紹介できなかった分です。

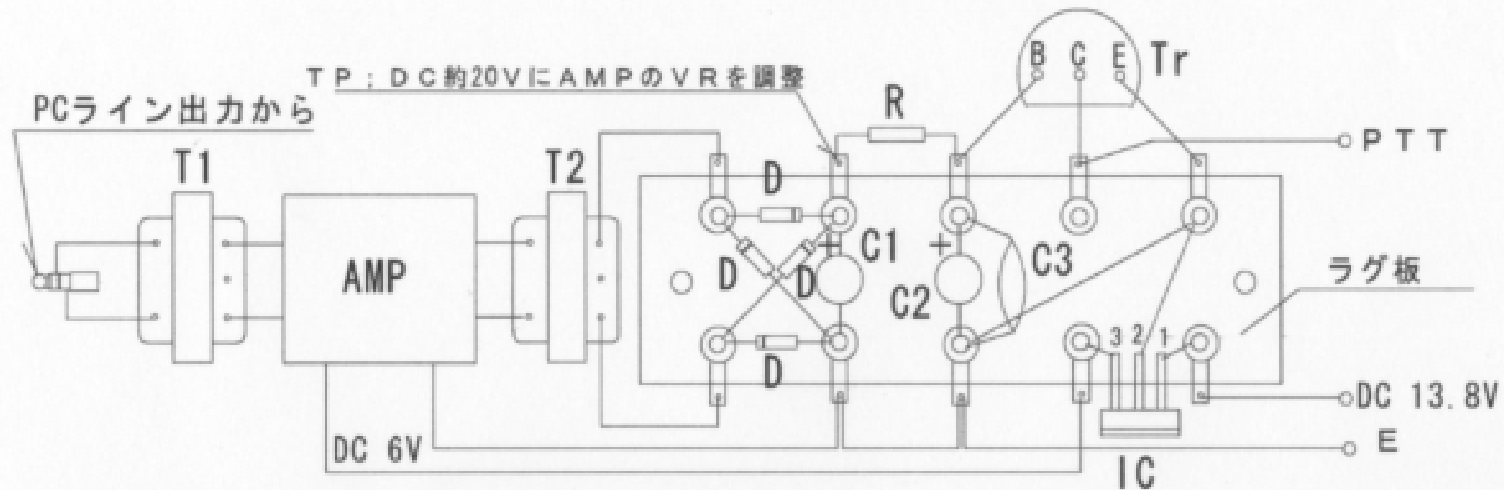


# ボイスコントロール実体配線図



# ボイスコントロール実体配線図

デスクトップ型アンプ外部取り付けタイプ



※ AMP: シーズキット (アンプ386) C1, C2: 4.7 $\mu$ F (ケミコン50V)

D: 1S1588 R: 1K $\Omega$  (カーボン抵抗 1/4W) Tr: 2SC1815

T1: ST-23 (2K $\Omega$ :2K $\Omega$ ) T2: ST-32 (8 $\Omega$ :1.2K $\Omega$ ) IC: レギュレータ (7806M)

クラブ主催の**各種行事に参加しよう**

**原稿**をお願いします e-mail 大歓迎

**ロールコールに参加** しよう

**青森クラブのロールコールは毎週水曜日です。**

- ・時 間 午後 8 時から
- ・周 波 数 1 4 5 . 6 2 M H z F M
- ・ネットコン J R 7 B V Q (日野さん)
- トローラー J E 7 K C H (齊藤さん)お二人交替で。

**機関誌「じょんがら」へ寄稿のお願いです。**

- ・原稿の送り先は下記、渡辺 ( J I 7 B X K ) にお願いします。
- ・写真、画像のみでも結構です。(コメントもよろしく)
- ・ワープロやパソコンで印刷したものをお寄せいただくときには、左右の余白共 2 0 m m 程度にして下さると好都合です。
- ・月末までに頂戴できれば翌月号に、間に合います。

「電波の日」記念運用は 5 月 3 0 日 (日) 電技パーツ二階で行われました。今回は S S T V の装置が二セット用意されましたので参加者にとって分かりやすいものであったようです。

この次の行事は「海の日」記念運用で 7 月 1 8、1 9 日 (日、月) の二日間八甲田丸で行われます。詳しい時間帯については未定ですが六月号の「じょんがら」では間に合わない(直近過ぎる)かも知れません。ロールコール等でお知らせすることになると思います。尾野さんから S S T V に関する多くの情報が提供されています。パソコンをお持ちの方は是非挑戦してみてください。製作会の予定もあります。

表紙は J G 7 K I G / 7 大久保 勲さんの Q S L カードです。

交信日時 1988.09.11 10:29 三戸町 ( J C G # 0 2 0 0 3 )

発 行 者 J A R L 青森クラブ

発 行 日 2 0 0 4 年 0 6 月 1 5 日

編集担当者 渡 辺 聰 明 ( J I 7 B X K )

〒030-0811 青森市青柳 2 - 5 - 6

電話017-734-3810 留守電・Fax 017-776-6220

e - m a i l marumero@jomon.ne.jp